

# 第19回 化粧品包装セミナー

## — 原点・飛躍そして世界基準 —

日程：平成26年12月12日(金) 13:00 ~ 16:50

会場：スペースFS汐留

主催：公益社団法人日本包装技術協会

### ご参加のお勧め

本セミナーは7月・10月そして今回12月と本年度3回目の開催となりました。

第19回を迎える今回のセミナーでは、「原点・飛躍そして世界基準」と銘打って、包装技術の原点に立ち帰り、再確認とステップアップを目指し、グローバル対応出来る技術確立の一助になればと思っております。

どうぞこの機会に関係各位の多くの方のご参加心よりお待ちしております。

企画委員一同

### プログラム

時間	講演内容	講師
13:00 ▼ 14:10	<p>『化粧品・トイレタリー向けフィルム包装の最新技術について』</p> <p>近年、環境対応、省資源化、減量化、減容化、合理化といったキーワードで容器包装におけるフィルム化が進んでいます。また、食品保存で注目される賞味期限延長技術などの考え方も食品に限らず、多くの分野で注目されてきています。</p> <p>本発表では化粧品・トイレタリーにも広く採用されている包装資材として詰替えパウチの変遷と最新の開発製品事例を紹介し、さらには加工技術の応用例についても紹介し、上で述べたような商品の品質保持延長、品質向上、機能向上につながる素材についても言及する予定です。</p>	<p>凸版印刷株式会社 生活環境事業本部 生活環境事業部PBIC 商品開発部 課長代理 <b>栄 賢治 氏</b></p>
14:20 ▼ 15:30	<p>『化粧品向けプラスチック容器の樹脂材料選定と海外化粧品容器の動向（ガラス瓶→プラ容器）及びガラス代替樹脂の紹介』</p> <p>化粧品容器の種類・プラスチック容器の成形方法・容器に使われる一般的な樹脂素材をご紹介の上、具体例を挙げながらプラスチック素材選定時の注意点についてご紹介いたします。また、世界的に進行しているガラス瓶→プラスチック容器化のトレンド状況とガラス代替として代表的なプラスチック素材である、ガラスポリマー™(イーストマンケミカル社製 コポリエステル樹脂)のご紹介と海外での採用例を中心に、化粧品容器への応用例をご紹介します。</p>	<p>長瀬産業株式会社 ポリマープロダクツ事業部 ポリマープロダクツ部 <b>國友 進 氏</b></p>
15:40 ▼ 16:50	<p>『化粧品、トイレタリー製品、パーソナルケア製品における接着 — どう活かす接着と離着 - 接着原理の観点から —』</p> <p>日本での接着剤出荷量約80万トン中の10%強は包装用であり、出荷量第3位の位置にある。化粧品、トイレタリー製品、パーソナルケア製品の分野においても、粘着剤を中心に種々の場所で接着技術が活用されている。目的の接着を得るためには、「接着の持つ利点と弱点を知る」ことが重要と考えられる。「弱点」は、時には「利点」ともなり得る。今回は「着くこと」と「剥がれること」という裏腹の関係について、接着の本質に立ち返り考察してみたい。</p> <p>(1)良好な接着を得るには (2)接着を阻害する要因 (3)接着と粘着の特徴と環境要因への対応</p>	<p>東京大学 名誉教授 <b>小野 拡邦 氏</b></p>

### 化粧品包装セミナー企画委員 \*本催しは各企業から代表された企画委員によりプログラムを編成しております

主査 住瀬 雅広 氏 株式会社DSC 代表取締役社長  
直井 正宏 氏 株式会社コーセー 商品デザイン部 設計課 主任専門職  
木本 喜久 氏 株式会社資生堂 化粧品開発センター 外装開発グループ 副主幹研究員  
鈴木 智晴 氏 ポーラ化成工業株式会社 経営企画部 クリエイティブディレクター  
岡 政弘 氏 花王株式会社 基盤研究セクター 包装容器開発研究所 主任研究員 グループリーダー



# 講師のご紹介

## 栄 賢治 氏

凸版印刷株式会社 生活環境事業本部  
生活環境事業部PBIC 商品開発部 課長代理

### 【ご略歴】

1992年～ 凸版印刷株式会社入社。TPC事業部 開発本部へ配属  
2007～  
2009年 トップ・プリンティング・インドネシア駐在  
～2014年 凸版印刷株式会社 生活環境事業本部 商品開発部  
軟包材、特に詰め替えパウチを中心に開発を担当する。

## 國友 進 氏

長瀬産業株式会社 ポリマープロダクツ事業部  
ポリマープロダクツ部

### 【ご略歴】

2006年4月 長瀬産業(株)入社 工業材料事業部配属  
2007年～ 環境製品事業部へ異動  
2009年～ ポリマープロダクツ事業部への異動～現職  
(化粧品容器メーカー様への合成樹脂材料の販売)

## 小野 拓邦 氏

東京大学 名誉教授

### 【ご略歴】

1971年 東京大学農学部を経て大学院農学生命科学研究科修了  
(農学修士)  
1980年 日立化成工業を経て東京大学大学院農学系研究科  
博士課程修了(農学博士)  
1980～  
85年 カナダ紙パルプ研究所、ノースダコタ大学塗料高分子学部  
ポストドクトラルフェロー  
1985～  
2011年 農水省森林総合研究所接着研究室長、東京大学農学部教授、  
工学院大学工学部教授  
(著書) A.V.Polius: "Adhesion & Adhesives Technology" 水町浩、  
小野拓邦訳「接着剤と接着技術入門」日刊工業新聞社



## 講演要領

日時:平成26年12月12日(金) 13:00～16:50

会場:「スペースFS汐留」

東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル3F

参加費:会員14,040円(消費税・テキスト代含む)

\*同時に3名以上でお申込みの場合には、  
割引価格として1名11,880円(消費税・テキスト代含む)  
一般19,440円(消費税・テキスト代含む)

定員:120名



## お申込み方法

■本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。  
協会ホームページからお申込みできます。

\*協会ホームページ: <http://www.jpi.or.jp>にてホームページを検索し、各  
種・催事から「第19回化粧品包装セミナー」を開いて下さい。ページ  
末の申込みフォームに必要事項をご記入して送信下さい。

■申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。

■当日、ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません。  
(受付にて名刺をご提出いただけます)



## お問合せ並びに申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内  
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

### 【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第19回化粧品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づき場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

## 会場案内図

■会場:「スペースFS汐留」  
東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル3F

■アクセス:JR新橋駅 汐留口 徒歩3分  
地下鉄 東京メトロ銀座線 新橋駅 2番出口 徒歩3分  
都営浅草線 新橋駅 汐留1番出口 徒歩1分  
都営大江戸線 汐留駅 徒歩4分  
ゆりかもめ 新橋駅 徒歩1分



\*ホール入り口は、建物正面右側の専用階段を上って下さい

# 第19回化粧品包装セミナー(12月12日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内 FAX.03(3543)8970 No

会社名	JPI会員 ・ 一般 (どちらかに○を付けて下さい)				
所在地	(〒 )				
電話			FAX		
参加者名	所属役職		e-mail		
	所属役職		e-mail		
	所属役職		e-mail		